

行動生物学サイエンスカフェ2013

臨機応変にふるまう動物たち

日時：2013年12月1日（日）13：30～15：30

場所：広島大学内マーメイドカフェラプラス

アクセス

於：広島大学東広島キャンパス中央図書館前広場
バス停「広大中央口」から徒歩5分

プログラム

第1部 話題提供（各10分+質問5分）

司会：長谷川眞理子（日本学術会議連携会員、総合研究大学院大学教授）
 上田恵介（日本学術会議特任連携会員、立教大学理学部教授）
 粕谷英一（日本学術会議連携会員、九州大学理学研究院准教授）
 桑村哲生（日本学術会議連携会員、中京大学国際教養学部教授）
 岡ノ谷一夫（日本学術会議連携会員、東京大学大学院総合文化研究科教授）

第2部 各演者を囲んでフリートーク（50分：途中で席の移動可）

参加費：500円（ドリンクとデザートパンのセット）

定員：50名（先着順）

主催：日本学術会議行動生物学分科会

共催：日本動物行動学会第32回大会、広島大学総合博物館

サイエンスカフェ2013 <http://home.hiroshima-u.ac.jp/fshres/sciencecafe2013.html>

日本動物行動学会第32回大会 <http://home.hiroshima-u.ac.jp/fshres/ethology2013.html>



桑村哲生



誰から雄へ、雄から誰へ、
臨機応変に性を変える
サンゴ礁の魚たちについて紹介します。



ホンソメワケベラ

粕谷英一



昆虫も、その場の状況や過去のできごとに応じて臨機応変に行動します

フタモンアシナガバチ



司会
長谷川眞理子

岡ノ谷一夫



ハタカデバネズミは
アフリカの地中に住む
ヘンテコな生き物です。
鳴き声を使って社会を
維持しているようすを
説明します。



ハタカデバネズミ

上田恵介



鳥の中でも賢いものの代表は
オウムとカラスですね。
彼らのびっくりするような行動
を紹介します。



ミヤマオウム